

狐狸ヶ池でオニバスが確認されました

▼問合せ すこやか環境グループ ☎079 (435) 2721

オニバスは日本に自生する水草としては最も大きな1年草で水面に直径1メートルを超えるような大きな葉を浮かべます。日本固有の種で最近では水辺環境の悪化などで姿を消し、絶滅が危惧されている珍しい植物です。



▲8月10日狐狸ヶ池で撮影

外来種の防除調査を行っています

町では近年大量に繁殖し、生態系などに被害を及ぼすことが懸念されている外来種「アカミミガメ」の関連性を調査するため、平成27年度よりアカミミガメの防除調査を狐狸ヶ池で実施しています。

オニバスの復活は水質、天候など様々な要因が考えられますが、アカミミガメの生息密度を低く保つことにより、アカミミガメによる被害を抑えることができたのも大きな要因と考えられます。

アカミミガメを捨てないで!

ペットとして飼えなくなったアカミミガメを川や池に放流することは、自然界での大量繁殖の原因になってしまいます。アカミミガメに限らずペットを捨てるのはやめましょう!

大中の狐狸ヶ池では平成19年に約50年ぶりに生育が確認されましたが、その後再び姿を消していました。

はりま津波ひなんウォーキングの参加者を募集します!

▼問合せ 危機管理グループ ☎079 (435) 0991

11月5日(土)大中遺跡まつりの実施にあわせ、平成28年度播磨町津波避難訓練として「はりま津波ひなんウォーキング」を実施します。

一人ひとりが津波から身を守る意識を高め、かけがえのない命を守るためのウォーキングです。ふるってご参加ください。

▼参加方法 「はりま津波ひなんウォーキング」は、事前に参加登録さえいただければどなたでもご参加いただけます。

お一人様からご友人、ご家族でのご参加はもちろん、地域や事業所単位などでもご参加ください。

▼申込み・参加登録 事前に参加登録をお願いします。中央公民館、各コミセン、郷土資料館、県立考古博物館、播磨町ホームページで手に入れることができます。「はりま津波ひなんウォーキング参加資料」に同封されているエントリーシートをご利用ください。

▼参加登録締切日 10月21日(金)



11月5日は「津波防災の日」

家庭や地域・職場などで避難路の確認や安否確認の方法を話し合ったり、家の中の安全な場所や備蓄品・非常食の確認を行ったりするなど、防災対策を再確認しましょう。

兵庫県南海トラフ地震 津波一斉避難訓練

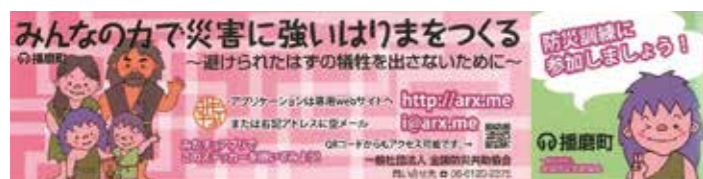
「はりま津波ひなんウォーキング」は、兵庫県及び兵庫県瀬戸内海沿岸15市町が合同で開催する「兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練」の事業として開催します。

スマートフォン用防災アプリ「みたちヨ」をご利用ください

播磨町では、スマートフォン用防災アプリ「みたちヨ」の活用を推進しています。このアプリは、スマートフォンのカメラとGPSを活用し、任意の避難場所までのおおむねの方向と距離を画面に表示させ、避難誘導を行う仕組みです。



※QRコードをスマートフォンで読み取ると、防災アプリ「みたちヨ」のダウンロードができます。詳しくは播磨町ホームページをご覧ください。



ひなんウォーキングってどんなことをするの?

- ①あらかじめ、大中遺跡公園(または野添北公園)までのウォーキングコースを考える
 - ②前日までに、当日のご都合にあわせて「津波ひなんウォーキング」開始時刻を決める
 - ③開始時刻になったら、3分間地震の揺れから身を守る行動を行う
 - ④その後、大中遺跡公園(または野添北公園)に向け「津波ひなんウォーキング」を開始する
 - ⑤大中遺跡公園(または野添北公園)に到着したら、大中遺跡公園内の受付ブースに行き「はりま津波ひなんウォーキングタイムテーブル」を提出する
- ※受付時間は9:30~13:00となっております。



ご参加いただいた方には、参加賞をプレゼント!(先着300人) 終了後は、多彩な催しがある大中遺跡まつりもお楽しみください。お帰りの際は、大中遺跡まつりで運行されているシャトルバスもご利用ください。